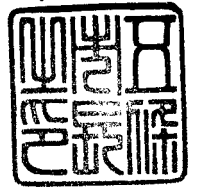




五 建 第 2 4 7 号
平成20年10月23日

国土交通省道路局長 殿

奈良県本町1丁目1番1号
五條市長 吉野晴夫



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった、今後の道路行政に
についての意見・提案の提出依頼につきまして別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

奈良県五條市

災害に強い広域幹線道路ネットワークの構築、地域間格差の是正、安全で安心できる豊かな生活環境を確保するため、必要な道路整備や既存道路の維持管理が停滞することのないよう財源を確保するとともに、計画的に推進されることを要望いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②－１ 地域の現状と抱える課題

奈良県五條市

○現状

本市は、旧街道の集まるところに出来た交通の要衝として栄えた町であり、昔から道と街づくりには、深い関連がある地域であり地域の道路整備に対するニーズは高く、多様な道路整備を求める声が特に多い地域である。

広域幹線道路ネットワークの整備や交通安全の向上等は重要な政策課題と位置付けており主要な幹線道路においても狭隘な箇所が多く安全で安心できる豊かな生活環境を確保する事が必要である。

○課題

広域幹線道路ネットワーク等の整備に合わせて土地利用計画の見直しをも行って、企業誘致を図り雇用の安定・経済活性化等の産業振興のまちづくりを計画し観光振興として世界遺産大峯奥駈道を初め自然・歴史や温泉等の魅力を観光客に提供する観光交流拠点を位置付け宿泊機能の強化と各拠点の連携を図る。

柿出荷量で全国1位であり大阪都市圏等の大消費地へ安定した需要を確保した地域産業の振興を図ると共に観光拠点とも連携を進め南和地域の交流拠点となるよう図る。

今世紀前半に発生が危惧される東南海・南海地震等の自然災害への防災体制や地域医療体制の充実が図られ、市民の生命と財産を守る事や過疎化対策・地域活性化等をはじめとする定住化の為に基盤確立を図る。

②－２ 地域の目指すべき将来像

奈良県五條市

京奈和自動車道・地域高規格道路五條新宮道路・国道24号・各主要地方県道・一般市道等の整備や紀伊半島と京阪神地域の連携を強化する新金剛トンネルの新設に伴い広域道路網の整備を行う。また、第二国道軸「東海南海連絡道」がクロスする町を目指しています。

これらを実現する事により、市全体の連携はもとより市・県界を越えた広域幹線道路ネットワーク等の連携を強化し産業振興、地域産業、観光振興、過疎化対策等地域経済の発展を図ると共に緊急医療体制や防災体制を構築し、目指すべき将来構想「交通の要衝と創造都市」の実現を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期

奈良県五條市

特にありません